

研究テーマ（仮）
土器判別
スマートシティと
地価
まとめ

研究テーマ（仮）

佐藤 力

富山県立大学
u220029@st.pu-toyama.ac.jp

November 12, 2024

研究テーマ（仮）

土器判別

スマートシティと
地価

まとめ

- ・土器の 3D 形状とテクスチャパターンを統合した年代・地域性分類の高度化.
- ・スマートシティ技術の導入が地価に与える影響の研究
- ・持続可能な食材データベースの構築.

土器の 3D 形状とテクスチャパターンを統合した 年代・地域性分類の高度化. 研究背景

3/6

研究テーマ (仮)

土器判別

スマートシティと
地価

まとめ

研究背景 (その研究の必要性).

- ・ より精度の高い年代や地域分類が可能になると考えます.

研究目的

- ・ 現段階では 3D スキャンデータと RGB テクスチャがデータとして扱われていますがひび割れや摩耗のパターンといった特徴量を追加し精度の向上を目指す

実験内容

- ・ 追加した特徴量を CNN を用いて特徴の抽出を行い、形状特徴とテクスチャ特徴を統合した深層学習を構築する

研究テーマ（仮）

土器判別

スマートシティと
地価

まとめ

研究背景 (その研究の必要性).

都市開発の効率化、地域活性化への貢献が見込めると考えます。

研究目的

スマートシティ技術（例：IoT、ビッグデータ、スマートインフラ）が不動産価格に与える影響を評価。スマートシティの発展が地価にどのように反映されるかを分析。技術導入による経済効果の評価

実験内容

スマートシティ導入地域と未導入地域での比較

研究テーマ（仮）

土器判別

スマートシティと
地価

まとめ

研究背景（その研究の必要性）

- ・近年、食品ロス、地産地消不足が問題視されています。持続可能性の観点を取り入れたシステムはまだ少なく、また、献立の材料が重複したりすることによる無駄を削減することで、食材ロスの最小化を図ります。

研究目的

- ・環境に配慮した食材（地産地消、季節の食材、低環境負荷な食材）を優先し、献立作成時に食材ロスを最小化する機能を提案します。また環境配慮型の飲食業や大規模施設での利用価値が高いと考えます。実験内容
- ・環境への配慮が高いとされる食材（地元産、季節の食材、環境負荷が低い生産方法など）を分類し、データベースに登録します。ユーザーの地域情報を基に、地元で生産された食材を優先して提案するアルゴリズムを設計します。web上の料理レシピデータをスクレイピングしその食材を中心にレシピを作るように機能を組み込みます。

今後の課題

- ・現実的に可能そうなものを研究テーマとして決める。
- ・どの研究にも言えることだがデータが存在するかの確認を急ぐ